

令和7年度 上婦負ケーブルテレビ株式会社 番組審議会

1. 開催日時

2026年2月18日(水) 午後6時～

2. 開催場所

上婦負ケーブルテレビ株式会社(富山市婦中町羽根 827-1)

3. 出席者

【番組審議委員(敬称略)】

- 委員長
原 敏隆(速星地区自治振興会 会長)
- 委員
浅野 政季(神保地区ふるさとづくり推進協議会 副会長)
坂川 智幸(富山市朝日公民館 主事)
木村 宏(宮川地区ふるさとづくり推進協議会 会長)
谷口 勉(古里自治振興会 会長)
金子 美桜(山田中核型地区センター・地域おこし協力隊)
野中 明(鵜坂地区ふるさとづくり推進協議会 会長)

【欠席委員(敬称略)】

- 西島 清一(婦中熊野地区ふるさとづくり推進協議会 会長)
- 平野 利彦(音川地区ふるさとづくり推進協議会 会長)

【上婦負ケーブルテレビ出席者】

- 竹内 茂 代表取締役社長
- 井林 孝仁 取締役 営業・工事技術部部長
- 小林 拓郎 営業・制作部次長
- 稲本 志津江 営業・制作部

4. 審議対象番組

審議に先立ち、委員各位に以下の番組を録画DVDまたはYouTubeにて事前視聴いただいた。

1. 新春特番「KCT トピックス PLUS ～2025年の話題を振り返る～」
2. 富山かがやき物語「地域に広がれ 音楽の輪」

5. 主な意見

- 昨年度と比べると、新春特番のカメラワークが改善されたように感じた。
- 神保地区の文化祭では「私の宝物」というテーマを設けたが、番組を通してそれぞれの「宝物」を知ることができて良かった。各地区にある伝統的なものや、今のうちに残しておかなければならないものを、映像として記録し次の世代に残してほしい。
- あらためてDVDを視聴すると、自分にはない視点や気付きが多くあった。
- 新春特番では、普段の何気ない会話から得られる情報など、本当に地域の方が知りたいことを漏らさず拾っており、多角的な視点で構成されていると感じた。
- 「富山かがやき物語」は、5分という時間で気軽に視聴できる点が良い。地域の方が何かしらの活動をしているという話は耳にするが、その背景や思いは、これまで想像するしかなかった。短時間で、普段行けない場所の映像や、携わる人たちの思いをしっかりと伝えており、非常に良かった。
- 「KCT トピックス PLUS」では、年間を通した取材量の多さにあらためて驚いた。今年度は宮川地区を何度も取材してもらい、「自分たちがテレビに出ていた」という声が住民から多く寄せられている。地域の取材を細かく続けてもらい、それが映像となりテレビに映ることは、住民にとって誇りや楽しみになっている。地域全体としても元気をもらえた1年になったと感じる。
- 「富山かがやき物語」は、となみ衛星通信テレビ制作の回を見たこともあるが、全体のトーンが似ているようにも感じた。何か制作上の決まりがあるのか気になった。
また、ケーブルテレビだけでなくNHKでも放送されることで、出演者にとってはスターになったような気分になれる。上婦負ケーブルテレビとしても、映像の見せ方をさらに工夫し、より目立つようにできないか。具体的には、YouTubeでよく見られるテロップや、民放番組で使われるような吹き出し表現などの活用も検討してはどうか。
- 毎週「KCT 週刊トピックス」を楽しみに視聴している。古里地区ではイベント数自体は多くないが、その少ない行事をしっかりと取り上げてもらっている。今後は地区としても催しを増やす方向で検討していきたい。住民に自分たちが出演している様子を見てもらい、話題が広がることで地域の活性化にもつなげたい。
- DVDは長尺であったが、時間を感じさせないほど懐かしく楽しく視聴できた。1年を振り返る構成で放送してもらえたことは、とても良かった。
- 新春特番では、他地域のイベントが見やすく、分かりやすくまとめられていると感じた。山田地域でも活性化を目指してさまざまなイベントを行っているが、他地域の取り組みを知る機会がなかなかないため、地域おこし協力隊としても参考になった。
- 他地域の様子が分かったことは大きな収穫だった。特に宮川地区のSDGsへの取り

組みは、当地区ではそこまで深く考えてこなかった点であり、参考になると同時に反省点にもなった。

- 小中学校の統合や閉校については、山田地域のように住民側から他校との統合を要望するなど、これまでとは異なる動きも生まれている。こうした変化をふまえると、将来を見通すうえで参考になるような映像記録が残っていることは大切だと感じる。季節感や使われる言葉も変化し、これまでの常識が覆されるような事象が起きるなかで、意図を持って記録を残し続けることは、今後ますます重要になる。
- 速星地区は行事が少ないが、小中学校や保育園のイベントは多く取材してもらっている。新春特番で3か月ごとに区切って紹介していた構成は分かりやすく、他地区との比較もしやすかった。MCの宮本さんと新聞記者・由井さんの掛け合いも良く、番組の魅力になっていた。一方で、せっかく良い番組なので、どうすればより多くの方に見てもらえるかを今後も工夫していく必要があると感じる。

以上